7人です。 水彩画」

いずれも

## 趣 ポ 便 親睦 y 会 2

仲 展

## 島 孝男

7 紹介します 毎年4月に福島信用 亡人展」なのグルー 1 ブ 0 つが遊

覧いだだくと伴に何よ 寄り発表の場を設けご 各自の趣味作品を持ち も多いと思いますが、 来場されご承知の方々 に毎年お付き合いでご 目となりました。 リーを借りて6日間開 金庫のふくしんギャラ ており今年で13回 すで 富んだ展示会で、 0 私を除けばセミプロ級 協力会社の会長)、 裁」の 0 模工場プリント事業)、 真」の大西紘昭さん(相

するため孫達に会いに 係から全国各 真を貼ったり ックを 初は小さなスケッチブ 旅行の機会が多く、 7 組関口 は娘夫婦 いております。 は娘夫婦の勤務の関小生個人の動機とし 持ち日 H していた 記風に写 地に転勤 の旅

の集合写真

な

が始

ま

1)

・高工場勤務が長い)、

斎藤禎秀さん(保原・

我々の老後のやりが

約200名のご来場を

腕前でバラエテイに

出展者等と歓談、

作品

を受け

て古に思いを馳せて帰

の説明

励みになればと思

頂

始まった次第です。

は

「版画」



ぎやかな会になること

豆望んでおります。

ても問題ない

し更にに

、展に名称 七人展が

が変わっ

## 福島大会開 催B

写

び仲間7人展」を見学、 地区の仲間(18名) で開催されてい 福島駅に到着し、 日 В 20 福島で は 11日午後、 **4**月 17年度水晶 開催されま 11 邦 日 た「遊 市内 相模 が 12 O

「手芸」の竹村信子さ

(小高工

一場勤務) の浜島孝男

懇親会会場にて に 賑参 32 開 や加名か 会かでのれ らホテ 6 時 か 夜 親会が ルで懇 名のれ

が 準 梅 路 叫に着いた。 からも参加 伊豆箱根 平杯ゴルフコンペ」・成11年頃から「浅原 田先輩のお話では、 水晶OB 13 年頃から福島地 方 から「浅原 会の歴史は して仲間 面で開か

スター

トし 口

今年の7月

80

を

迎えまし

す。

八

人展、

味をお持ちで参

さん

0

中に

い方は是非お

願

VI 加

しま した も趣

則さん運転で会津方 への小旅行を21名参 翌日 は マイクロ

兼続等を参拝の変更、上杉鷹山 米沢の上杉神社参拝には中止して急遽、山形 から会津地域を見渡り 味わい、会津若松で鶴 食は喜多方ラーメンを ライン(雪の回廊巡り) は生憎の小雨でスカイ 加面 バスを仕立てて、 ケ 城を拝観して天守閣 で楽しみました。 浜 した。 直江 朝

を月1回、 関係者によるゴルフ同 始められ、 好会である「マテリア 回開催しています。 好会である「オー 気会コンペは従来の同 等を引き継ぐ形で 福島東洋通 のゴ 平成15年に 年 -間8~ 信 イ元 9

は宮崎 れからの開催には工夫間の高齢化が進んでこ 福島地 と変化が必要かと思わ ております。 るようになっ 地区に 秋を 区で交代開 相 段々、 て、 模地 to 発展し 昨年 催 区 仲

は、

位入賞者、ブー

す。

は 加

約 30

が

して

いま 名

幹事

口

『の準優勝

者とブー

ピー

が担

当

終了後の表彰式

で

## フコン イ元気会

コアー

はハンディキャ

プ制となっており、

を準備しています。 それぞれに賞金・賞品 ビー及びニアピン等、

ス

樹

1

口

「の上位入賞ごとに

大幅に減らされますの

で、

1年の内、

誰にで

も優勝するチャンスが

ると清 打った白球を追って なるものです。 空の 清しい気持ちに 中、 思い切り VI n

運動 あります。 維持の為にもできるだ を咲かせるとともに、 仲間の近況等に話 者の元気な様子や け続けて ゴルフを通して 不足の いきたいもの ・昔の 健康 0

ゴ ルフをやって 蔵王連峰 を背景に 待か。 何で、 様、 いる皆 ょ 是



ンペの後

土

た。

コンペは年金生活

な話 n

> 人も参 日を避

設定されて

何では してみ か ていま